

「人生の実力」という意味

7月の学校朝会

7月1日(火)、1学期最後の学校朝会が行われました。

市川校長から、「人生の実力」とは、何かを考えてほしいというお話がありました。分かりやすくイメージとして、「平気で道路にゴミを捨てる行為」と「平然とその

落ちているゴミを拾う行為」があったとしたら、どちらが真の実力だろうか？という校長の問いにある1年生の男子が「拾うほう」と答えました。皆さんは、その答えに賛同できますか？賛同できる人は、拍手をしてみましようということで、体育館に拍手が鳴り響きました。また、目に見えないものとして社会的な身分などの肩書きではなく、自分がいかに生きていくかが大切であり、いろいろな挫折があるかもしれないが、自分のあり方を尊重し、大切に生活してほしいと思いますと締めくくりました。

今回も、どの学年も立派な態度で朝会に臨む事ができていました。



朝会の様子